



「幻の池」は数あれど、そのマボロシ感、本物

のっけから何ですが、「小田代湖」という湖はありません。普段は「小田代原」という草原だった場所が、ごくまれに水没し「幻の池」を出現させます。2018年の台風の後、実に7年ぶりとなる池が出現し、稀代の絶景を狙う写真家たちから憧れを込めて「小田代湖」と呼ばれるようになったようです。

このような池は専門的にはシーズナルレイクといい、全国各地に点在しています。福岡の公園内にあるお手軽な「幻の池」や、水がいつもあるのに「幻の池」という名を持つ新潟の山地など、あまり幻っぽくない池もあるだけに、めったに出現しない小田代湖のマボロシ感は本物。

今年、超ノロノロで列島に大雨をもたらした台風10号が去るや、すわ現地には駆けつけてみました。あったのは草原だけ。地元の人に聞くと、台風が2つ3つ重なるくらいじゃないと、なんて話。最後の出現から5年、小田代湖は姿を見せていません。

「幻の池」アラカルト



池の平 幻の池

遠州七不思議に数えられる「幻の池」。7年ごとに現れるという伝説もあり。写真は9年ぶり出現した2020年のもの。

●静岡県浜松市天竜区



赤城山 血の池

大雨の後だけ水がたまり、季節によってはミジンコの大発生で水が赤くなることも。写真は2024年9月の台風後のもの。

●群馬県前橋市富士見町



池山池

雨後だけに現れるという伝説の山上湖。地図にも出ているのに、山奥にあるため地元の人でも池を見た人は少ない。

●高知県室戸市元

文・イラスト・写真
市原千尋



Profile

全国2,600基のダムを含む日本の主要な池や湖沼11,000か所を車中泊で踏破。訪れた池の魅力を毎日ブログで発信。著書に「日本全国 池さんぽ」(三オブックス)。



【運営ブログ】水辺漫路
<https://bunbun.hatenablog.com>